

能は歌舞(謡と舞)を中心に構成された演劇です。シテ(主人公)は神、武将の霊、草木の精、鬼など様々で、節(メロディ)を付けた「謡」を謡い、哀しいや嬉しいといった感情表現の場面では「舞」を舞います。狂言は中世の口語による会話劇です。おっちょこちょいな人や偉ぶった人が現れ、現代の私たちが見ても笑ってしまうような風刺劇がたくさんあります。

狂言「口真似」

知人から樽酒をもらった主人は、一人で飲むのもどうかと、酒の相手にして面白い人を呼んでこいと太郎冠者に言いつけます。誰に声を掛ければ良いのか困った太郎冠者ですが、思い浮かんだ人物は、有名な酒乱の人物。主人に追い返せと言われた太郎冠者ですが、さてどうするのか...

能「葵上」



光源氏の正妻である葵上は物の怪に取り憑かれて、病床(実際の舞台では、葵上は登場せず、舞台上に置かれた小袖がそれを象徴します)にあります。様々な医療を施しても一向に良くなりませんので、朱雀院に仕える廷臣が巫女に梓弓を使わせると、光源氏の元愛人である六条御息所の生霊が現れて、光源氏の愛を失った恨みから葵上を責め、幽界へ連れ去ろうとします。そこで横川の小聖という行者に祈祷させると、六条御息所は鬼女の姿となって、激しく襲い掛かります。しかし、終には祈り伏せられて、心安らかに成仏します。源氏物語「葵の巻」を題材とした能で、高貴な女性が鬼女にならざるを得なかった嫉妬の執念を扱った物語です。

第18回 高校生のための能楽鑑賞会

◆狂言「口真似」 善竹 隆平

◆能「葵上」 大槻 裕一

令和7年3月26日(水) 14時開演(13時半開場) ※16時半終演予定

参加無料 大槻能楽堂

但し、申込みが必要となります

【対象】高校生および引率教諭(教諭のみでは参加は出来ません)

【定員】220名先着順

【申込方法】右下のQRコードを読み取りいただきお申込みください
後日メールにてご連絡申し上げます

※QRコードが読み取れない方は下記【お問い合わせ先】までお知らせください

●氏名 ●学校名 ●連絡先(メール) を明記の上、お申込みください

学校単位でのお申し込みは

●学校名と教諭名、参加人数、連絡先(メール) を明記ください

参加お申込みは
こちらから



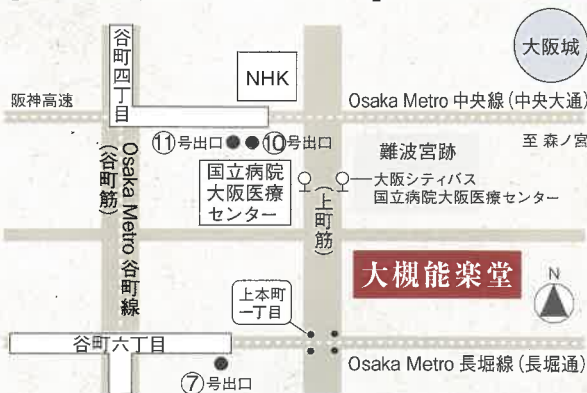
【申込受付期間】

令和7年2月17日(月)~3月21日(金)

【お問い合わせ先】

koukousei.nougaku@gmail.com

【大槻能楽堂へのアクセス】



- Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、⑩号出口を出て南へ約300m。(⑩号出口にエレベーターあり) またはOsaka Metro谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーターあり)
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
 - *「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き乗車
 - *「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き乗車

◆◆◆ 申込みいただきました方には「入場証」をお送りしますので、パソコンからのメール受信可能な環境でお待ちください ◆◆◆

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします